

銚岳〔大長征ルート〕山行報告

〔令和4年（2022年）4月16日〕

参加者：中山 正浩・土橋 誠・岡村 繁雄

2019年10月「美しいトラバースルート」に登攀したので、今回は、「大長征ルート」にトライした。



駐車場出発〔6:45〕



クライミング開始〔7:50〕



1ピッチ目



頭の上 正面草付きが 2 ピッチ目のビレーポイント



3 ピッチ目 立木のビレーポイントへ



4 ピッチ目 スラブからバンドへ [8:39]

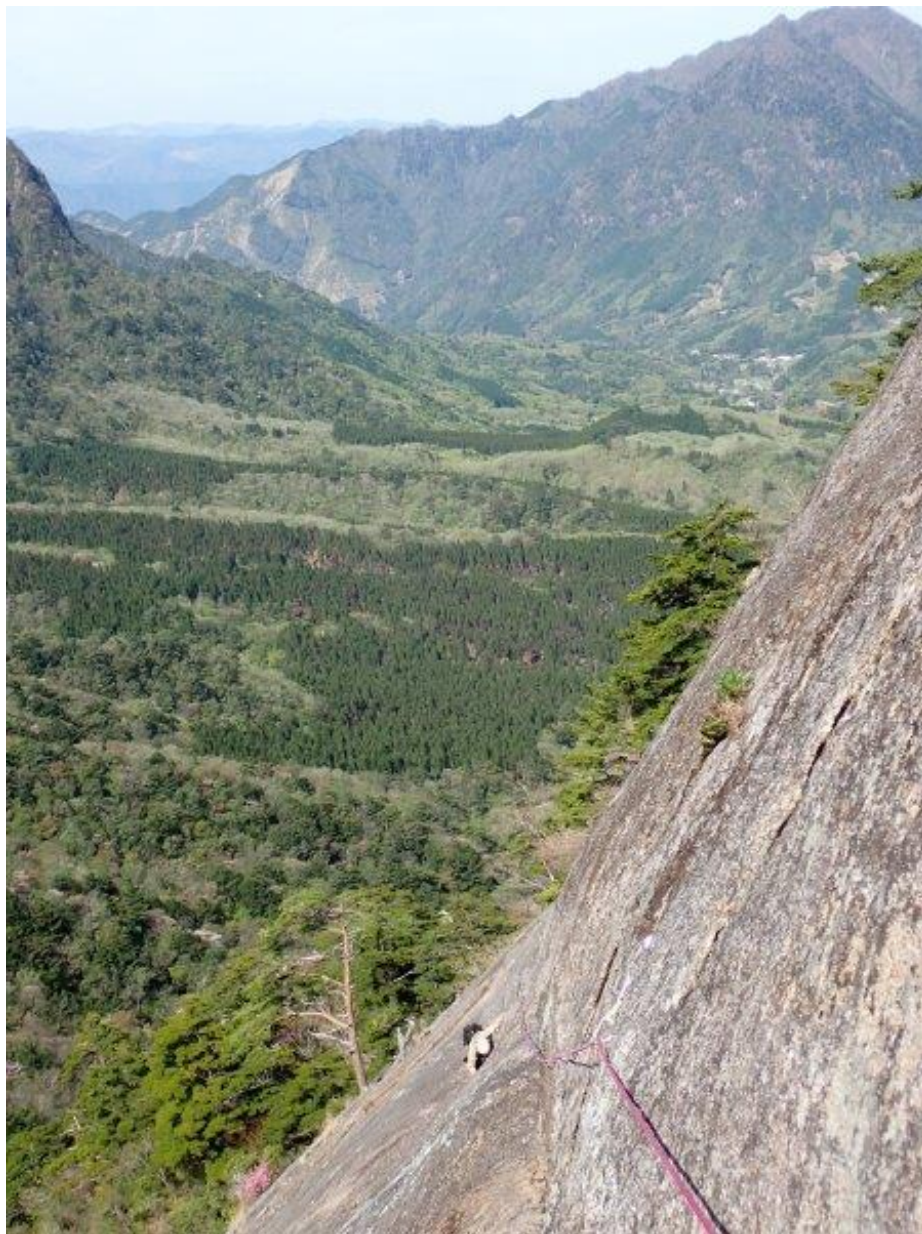


4 ピッチ目のビレーポイントで一休み

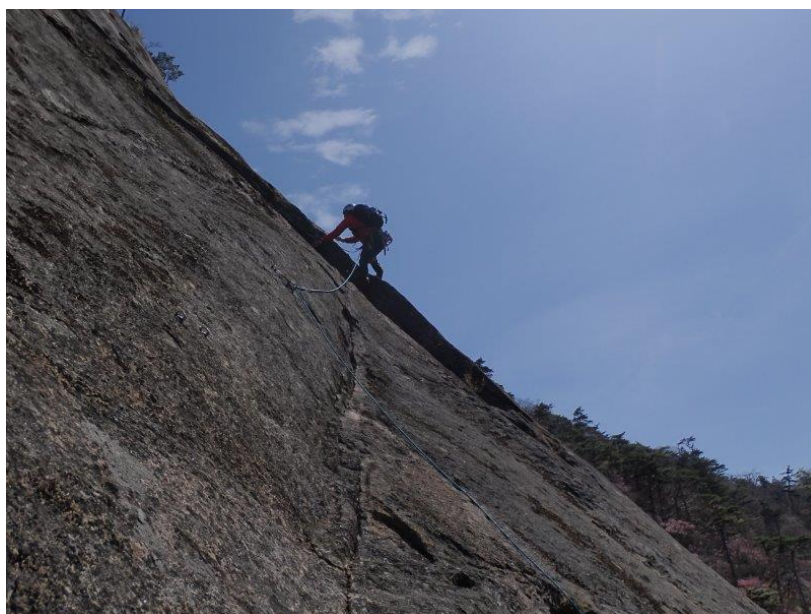


5 ピッチ目 バンド伝いにトラバース

5 ピッチ目のビレーポイントより
高度感もありフリーク
ションで快適に登攀



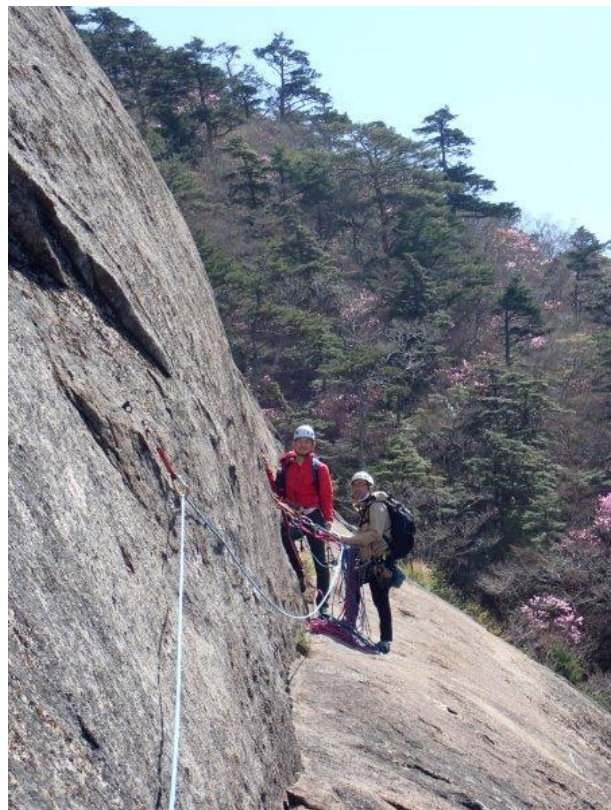
5 ピッチ目のビレーポイント [9:35]



6 ピッチ目 前方の乗越が多少バランスを要する



6 ピッチ目のビレーポイント



6 ピッチ目のビレーポイント
ここでやっと一息〔10:00〕



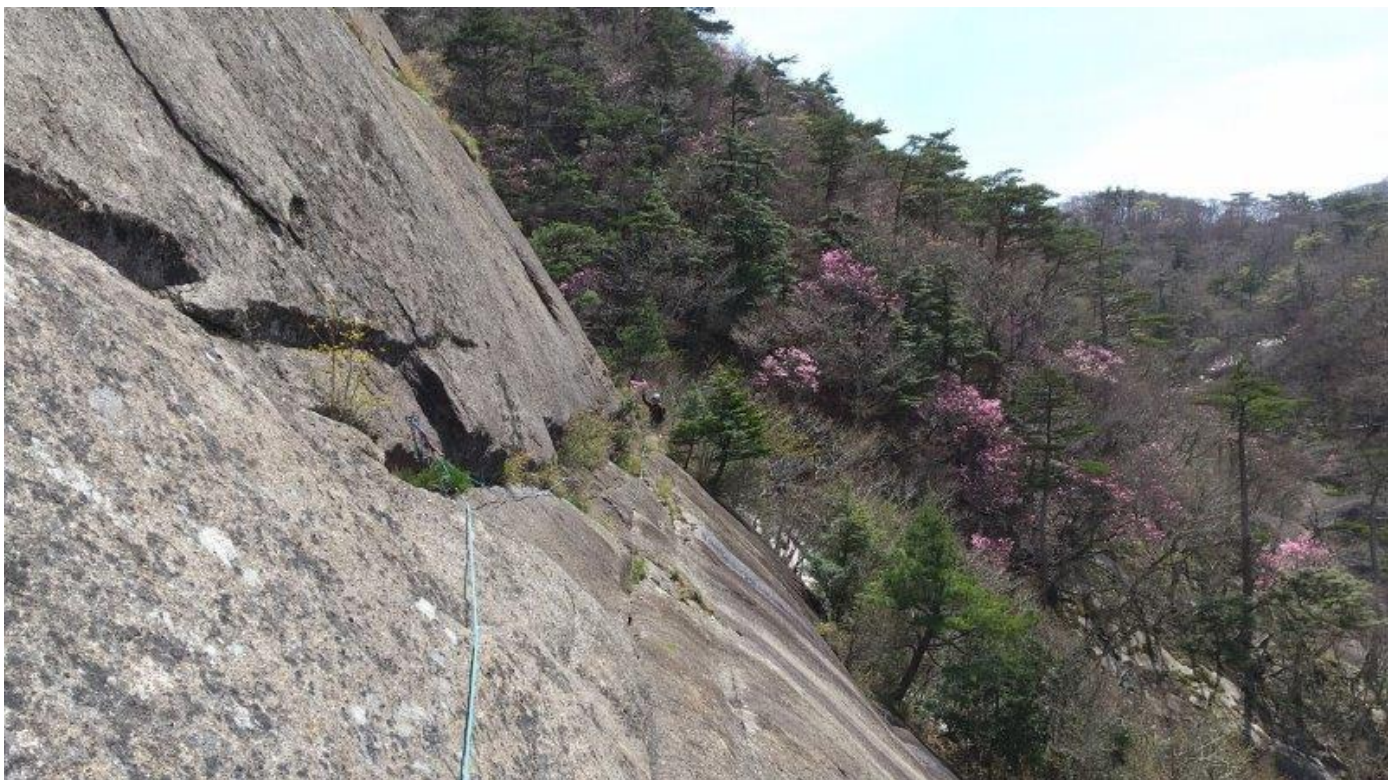
6 ピッチ目のビレーポイント、
ここから「美しいトラバース
ルート」の場合は、A1〔アプ
ミ使用〕で、直上する



2019 年 10 月撮影
「美しいトラバースルート」をA1で登攀途中、
後続パーティーを望む



7ピッチ目のビレーポイントより、中央バンドをトラバース [10:16]



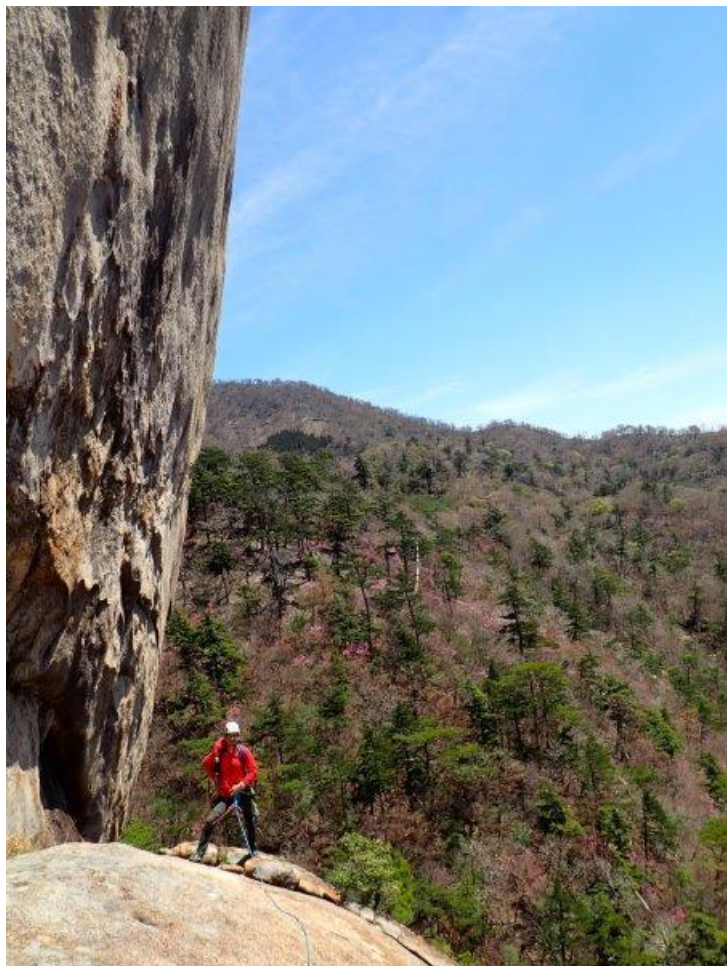
7ピッチ目のビレーポイント、中央バンドの右端（アケボノツツジが見ごろである）



「大滝左ルート」の上部、1ピット目〔10：36〕



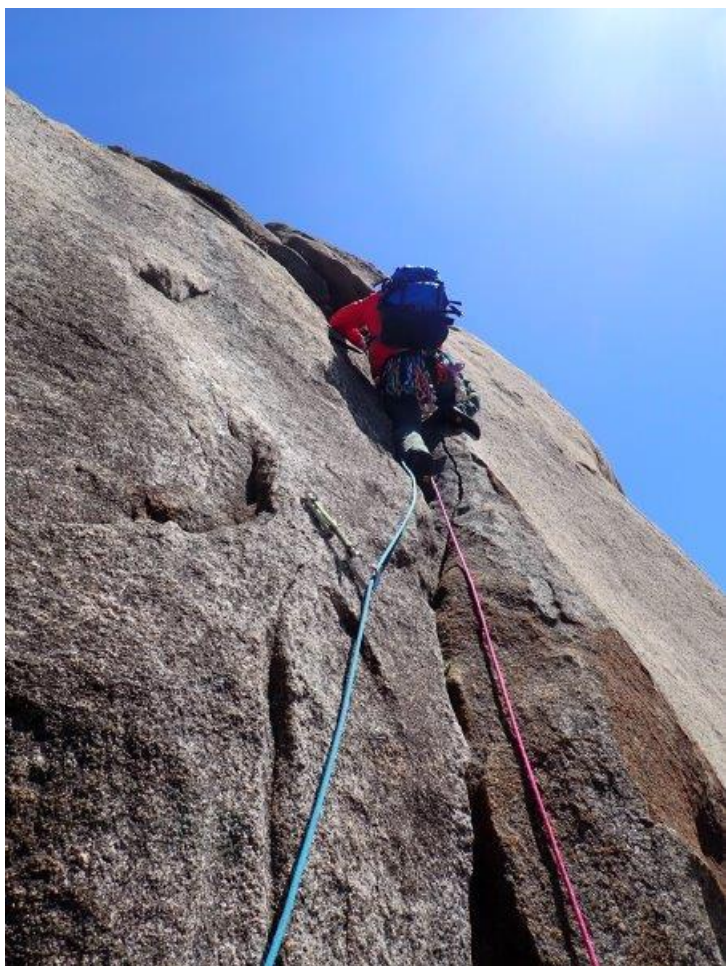
「大滝左ルート」の上部、2ピッチ目、前方の岩が「一の坊主」



一の坊主の際をトラバース [11:46]



二の坊主の際に行く



山頂へ、二の坊主のクラック、最後のピッチ [12:10]



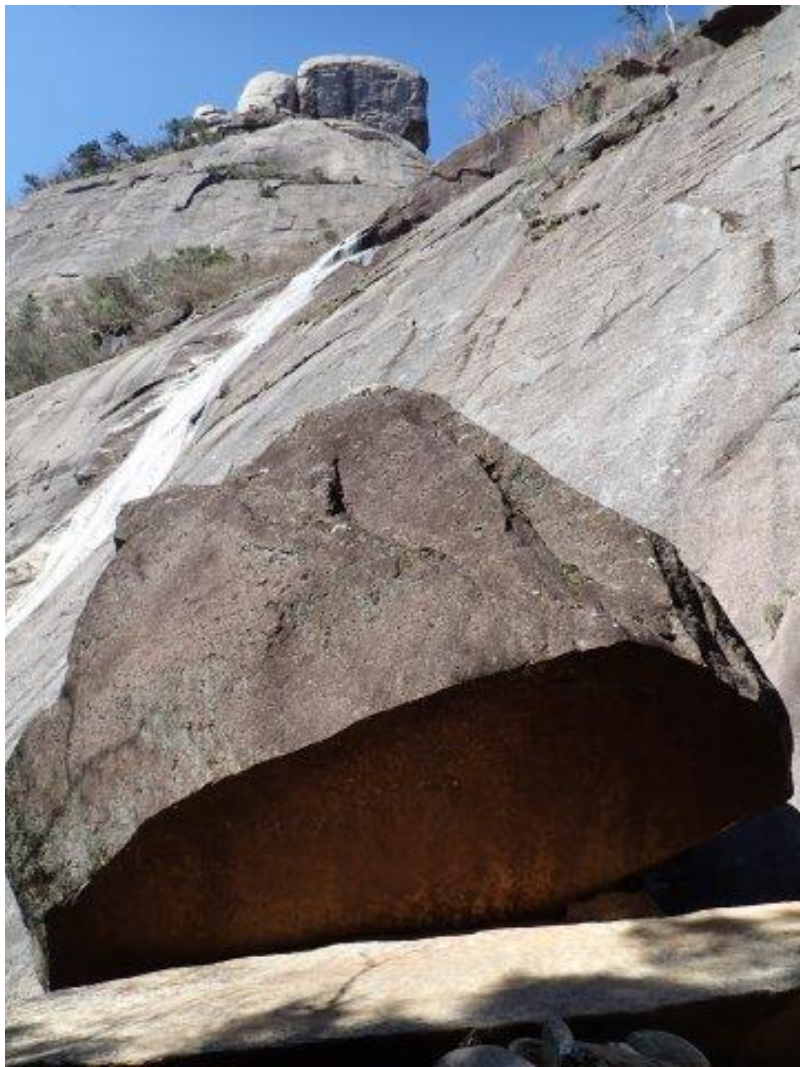
雌鉾岳山頂より、最後のピッチ



山頂、雌鉾岳の標識



ピーカンの最高のコンディション！ 登攀終了後、雌鉾岳山頂にて〔12：27〕



パッケン岩

我々が登攀した岸壁が左上部に望める



アケボノツツジと雌鉾岳



雌鉾岳登攀後、向かい側の展望台より



向かい側の展望台より〔望遠〕

後日ルート図を確認したところ、大滝左ルート上部 2 ピッチ目の後半は、晩秋の滝ルートの最終ピッチへ行ったようで、登りやすいところを登ると今回のルートへ行ってしまうがちである。

向かい側の展望台で鉾岳の岸壁を
目の前に眺めながら、ゆったりと
時間を過ごす





今回の登攀ルート

このルートは、快適なスラブルートで、最後二の坊主の抜け口は、クラックで多少パワーも要するがバランスさえよければ、中年の私でも楽しく登攀出来る好ルートである。

通常登攀後の下山ルートは、二の坊主を懸垂下降後、左のスカイライン沿いに下山することが出来る。

今回は、一般ルートを下山、向かいの展望台で眺望を満喫してから下山した。

快晴の青空が心地よく、アケボノツツジも満開で、周りの景色を満喫しながらの快適な山行であった。

〔大長征ルート〕〔宮崎の岩場 クライミングガイドより引用〕

「美しいトラバースルート」からスタートし、同ルートを6ピッチ登って中央バンドに出たあと、直上せずに、そのまま中央バンドに出たあと、そのまま中央バンドを右端までトラバースしていき、あとは「大滝左ルート」の上部を登ってピークに抜けるルート。

北九州山岳同好会「嵐」

Reported by S.Okamura

Photo presented by M.Dobashi & S.Okamura